

知 恩 第30号

目 次		
I 定時総会開催	2ページ
II 定時総会資料	6 //
III 講演会の開催	8 //



2年ぶりに総会が開かれた水戸市の祇園寺

3月27日(日)、祇園寺にて令和4年度の定時総会が開催されました。

令和2年3月の前回から、コロナの影響による中止を経て2年ぶりとなります。

祇園寺の境内には梅と桜が同時に咲き競い、穏やかな日差しにも恵まれた総会日和となりました。

総会の資料は、本号6・7ページをご覧ください。



I 令和4年度定時総会 開催

定時総会は午前10時30分から、会員及び来賓の方々約30人のご参加により開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指消毒や総会中のマスク着用等の対策にご協力いただきました。



定時総会の様子



大森会長 挨拶及び報告

冒頭、大森会長から、開会の挨拶及び今回の総会までにご逝去された、細谷 孝様、藤咲 哲様、佐藤 万里子様のご報告がありました。衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

次に、後藤通子水戸市議会議員、田所嘉徳衆議院議員(秘書)、福島伸享衆議院議員(秘書)、岡田広参議院(秘書)の各氏からご挨拶をいただいた後、議事に入りました。



後藤通子水戸市議会議員



来賓(国会議員秘書)の皆様

1 2022(令和4)年の 役員体制について

大森会長から、役員を
退任された

岡見瑞江さん、
弓削徳衛さん、
宇留野光さん、
松葉尚志さん、

の紹介があり、弓削さん、
宇留野さん、松葉さん
から、退任のご挨拶を
いただきました。



弓削徳衛さん



宇留野光さん



松葉尚志さん

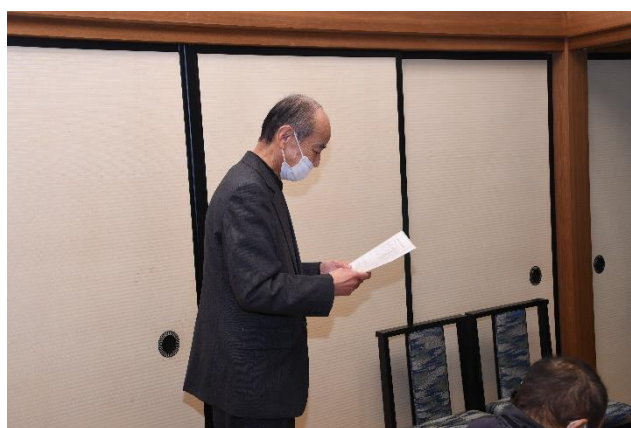
2 2021(令和3)年度決算報告、監査報告について

次に、2021(令和3)年度決算報告について、事務局から報告がありました。2021年度も新型コロナ禍のため慰霊旅行等の行事が中止となったことから、結果として2022年度への繰越額が増となりました。

この決算報告については、松葉監事から、帳票・書面等監査の結果、適正である旨報告がなされました。



決算報告



監査報告

3 2022(令和4)年度予算案について

続く 2022(令和4)年度予算案については、新型コロナ後の実施を計画する慰霊旅行に伴う事業費を計上する旨の提案がなされました。



予算案の説明

4 2022(令和4)年度活動計画について

2022(令和4)年度活動計画については、大森会長から説明がありました。概要は以下のとおりです。

- ① 会津・灰爪慰霊旅行の実施を計画する
- ② 弘道館戦争慰霊祭については2022年中での実施を急がない
- ③ 新型コロナの状況により、追加行事の実施も計画することとし、アンケートを取る
- ④ 2023(令和5)年の行事について検討する(順番による慰霊祭実施か 匝瑳市訪問繰上げか 等)

5 灰爪の史跡の件について

続いて会長から、「灰爪の史跡を守る会」が、会員の皆様の高齢化に伴い、2021(令和3)年度をもって解散したこと。

今後は灰爪集落町内会が管理を引き継いでくださること。

活動資金を今後とも支援していく所存であるので、会員の皆様には引き続き募金にご協力いただきたいこと。
等について報告とお願いがありました。

6 その他

本会のホームページについて、内容の充実を図ってきているのでぜひご参照いただきたいこと。またご自宅に関連する古文書等がございましたら、ご連絡をお願いいたします。

[http : //www.onkouhi.site/](http://www.onkouhi.site/)

高齢化により、会の縮小傾向が進んでおります。
会員の皆様方には、ぜひ次の世代への引継ぎと育成をお願いいたします。
そのためにも、ホームページをご活用ください。

7 以上の議案について採決したところ、全会一致をもって可決されました。

続く6・7ページに総会資料を掲載しておりますので、ご確認ください。

Ⅱ 2022 年 水戸殉難者恩光保存会 総会資料

1. 役員体制

岡見円礼さん、岡見瑞江さん、弓削徳衛さん、宇留野光さん、松葉尚志さんが退任され、深谷益美さんが戻られます。事務局長は会長が兼任し、その他役員にも複数の役を兼任してもらいます。厳しい運営状況ですので、会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

顧問： 小原宜弘、市村眞一、渡辺政明、後藤通子、中里誠志郎、鈴木映一

会長： 大森信明

副会長： 市川達也、朝比奈泰将、小山文子、結城敏也、大森信樹

事務局：

総務 成田行弘、門井孝廣、深谷益美、田口寛

会計 朝比奈泰将、門井孝廣

編集 大森信樹

会計監査 成田行弘、大森信樹

4. 2022 年行事

① 会津・灰爪慰霊旅行

7/1～2 を予定。新型コロナの感染状況を見ながら詳細を計画し、6 月初め頃参加者を募集します。

② 弘道館戦争慰霊祭

本年実施したい意向を会報に記載しましたが、現時点で幕末維新水戸藩有志を偲ぶ会の中山会長のご病気により偲ぶ会の協力を得られない状況であることから、本年での実施を急がないことにしました。偲ぶ会の新会長が決まりましたらと新会長と検討を進めたい考えです。改めて会員の皆様にご報告させていただきます。

③ 追加行事：新型コロナの状況を見ながら、追加行事を計画していきます。次を考えています。

- ・近場の史跡めぐり（長岡原の刑場址、市川三左衛門の慰霊碑、結城寅寿の墓所、他）
- ・神応寺の慷慨淋漓の碑の拓本を見せてもらう
- ・鯉淵勢の足跡をたどる
- ・学者先生による講和（市村先生、宮澤先生（水戸藩農民兵に詳しい）他）
- ・大田原の史跡訪問

アンケートを取り、希望の多い行事を実施したいと思います。

④ 2023 年の行事：順番では祇園寺での慰霊祭ですが、匝瑳市脱走塚訪問を繰り上げることも検討。

5. 灰爪の史跡の件

これまで史跡の維持管理を行っていただきました、灰爪の史跡を守る会は、メンバーの高齢化により、2021 年度をもって解散となりました。残念ではありますが、代わりに灰爪集落町内会が管理を引き受けてくれることになりました。恩光碑保存会では、引き続き灰爪集落町内会を支援していきたいと思います。活動資金が、水戸市からの支援 4 万円/年と合わせて 10 万円/年になるよう、6 万円/年を支援したい考えですので、会員の皆様には募金にご協力願います。7 月の灰爪訪問の際には、尾崎様ら灰爪の史跡を守る会の方々に感謝を申し上げますと共に、灰爪集落町内会の皆様にご挨拶したいと思います。

6. その他 HP を充実させてきましたので、ご参照ください。諸生党に関する資料を集め、内容の充実を進めてきました。また埋もれた資料を発掘したいので、もし会員のご自宅に古文書等ございましたら連絡ください。よろしくお願いします。 <http://www.onkouhi.site/>

後継者への引継ぎ・育成のお願い。会員の高齢化により会の縮小傾向が続いておりますが、灰爪・匝瑳市の方々との交流や、埋もれた諸生党の歴史を紹介していくことなど、恩光碑保存会の活動意義はまだあると考えます。そのため会員の皆様には、次の世代への引継ぎをお願いします。HP にはさまざまな資料を掲載してありますので、ご理解のためご活用願います。

以上

2021年度決算報告、監査報告 及び 2022年度予算

①2021年度 決算報告

2021年度

収支決算報告

2021/1/1～2021/12/31

単位・円

収入の部				支出の部			
科目	金額	内訳	摘要	科目	金額	内訳	摘要
前期繰越	612,103			慰霊旅行費	0		
年度会費	116,000			会議費	907		
寄付金	0			雑費	0		
灰爪寄付金	136,000			事務費	2,722		
雑収入	4			渉外費	0		
法要会費	0			資料費	1,421		
その他	0			通信費	39,697	会報発送料他	
				灰爪寄付金	60,000		
				振込料	440		
				法要費	0		
合計	864,107			合計	105,187		

2021年度

収入

支出

次年度繰越金

¥864,107

—

¥105,187

=

¥758,920

2020年度

収支決算を上記のとおり報告致します

2020.12.31 水戸殉難者恩光碑保存会

会長 大森信明

事務会計 門井孝廣



②2021年度 監査報告

監査報告

監査の結果、帳票・決算書とも適正であることを認めます

2022 年 3月 27日

監事 松葉尚志



③2022年度 予算

2022年度

収支予算

2022/1/1～2022/12/31

単位・円

収入の部				支出の部			
科目	金額	内訳	摘要	科目	金額	内訳	摘要
前期繰越	758,920			総会費	60,000	総会会場費他	
年度会費	192,000			慰霊旅行費	800,000		
慰霊旅行費	800,000			会議費	20,000		
				雑費	1,000		
				事務費	3,000		
				渉外費	18,000		
				資料費	9,000		
				通信費	95,000		
				灰爪寄付金	60,000		
				予備費	684,920		
合計	1,750,920			合計	1,750,920		

Ⅲ 市村眞一先生講演

「水戸藩の御三家＝結城・小山・宇都宮氏の興亡＝」

総会終了後、常磐短期大学特任教授の市村眞一先生から、特別にご講演をいただきました。

先生が今春上梓された「水戸藩の御三家＝結城・小山・宇都宮氏の興亡＝」における、水戸藩の名家といわれる三家について、先生が実際に踏査し、関係各位に聞き取り、推論し、確認、考察された内容を、わかりやすく かつ興味深く解説してくださいました。

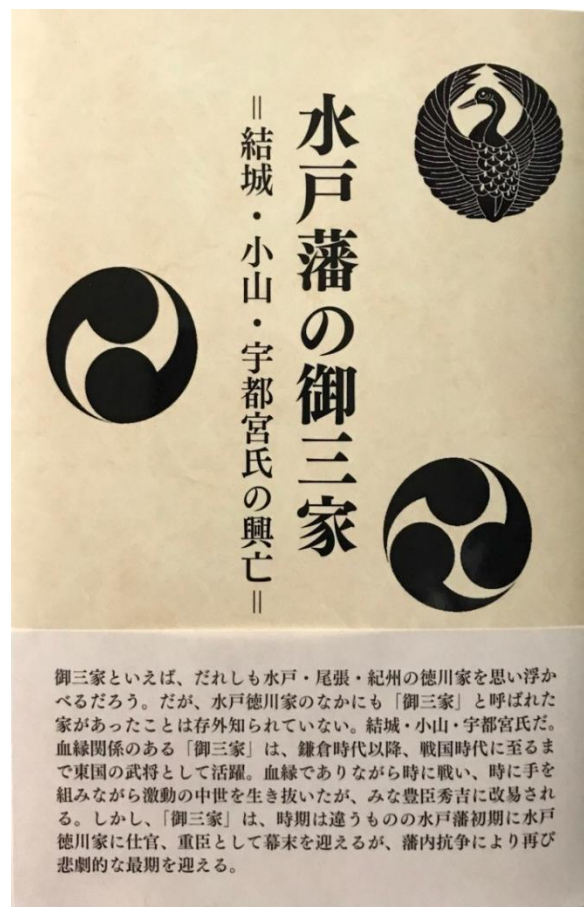
奇しくも「鎌倉殿の13人」が注目を集めているおり、当時から各家が競い合い、縁を組み、また同じ家系の中での離合集散もありつつ、水戸藩の御三家といわれ、さらに近代に至るといふ、あたかも歴史ドラマを聴くかのような内容でした。

また先生には、この貴重な書籍を、会員のため、入手に際し特段のご便宜を計ってくださいました。

ここに深く感謝申し上げます。

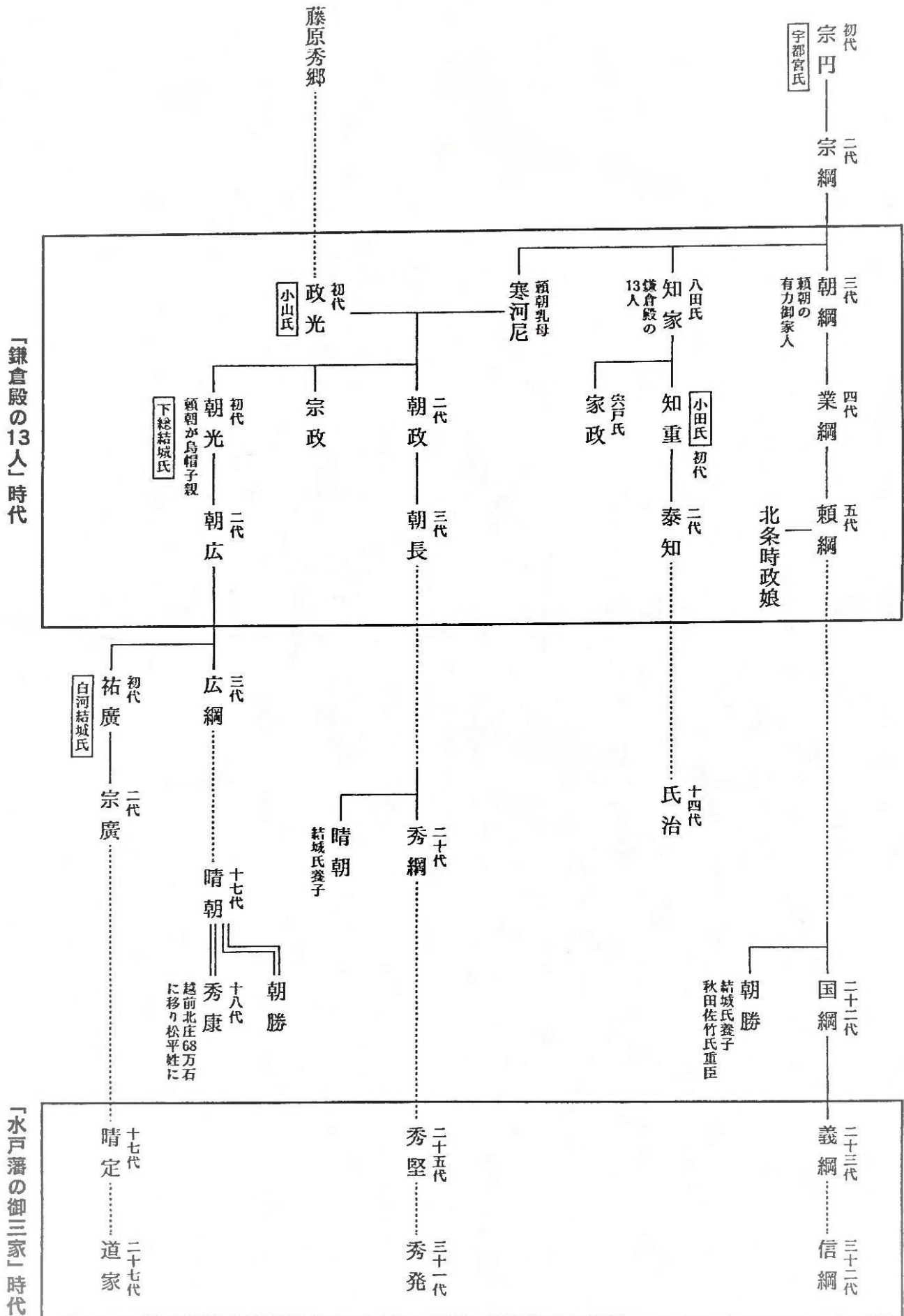


常磐短期大学特任教授 市村眞一先生



「水戸藩の御三家＝結城・小山・宇都宮氏の興亡＝」

「鎌倉殿の13人」と「水戸藩の御三家」の関係図





※本会のホームページのURLを再掲します
ぜひご覧ください

<http://www.onkouhi.site/>

★編集後記 紛争・動乱・戦争などが容易に拡大し、縮小の時機を見出すことの困難さに愕然とします。

争いは常に、直接の軍隊や軍勢ばかりでなく、家族や、地域で平穏に暮らす人々まで巻き込んできました。

その影響が将来にわたり波及することは、地域や国内外の事例からも明らかなことです。

平和を切に望むものです。

(樹)

知恩第30号

発行日

発行所

発行人

作成

2022年(令和4年)5月22日

水戸殉難者恩光碑保存会

大森信明

事務局 編集委員会